

十八史略原文テキスト（「三国志」 関連）

- この資料は、「三国志」の授業用プリントを作成するための母型としてまとめました。
- 訓点・字形は、一般通行のものに従っています。
- 一部省略箇所があり、「(省略)」として示しています。
- 作成者 高野由紀夫

(1) 髀肉の嘆

備嘗かつテ於おイテ表ノ坐ざニ起たチテ至ル廁かはやニ還かハリテ慨然トシテ流ス淚ヲ表シ怪問シミテ之ヲ備ハク曰ク、
「常時、身不離レ鞍くらウ、髀肉皆消ユ。今不復マタ騎のラ、髀裏肉生ズ。日月如ごとク流ル、老將まがニ至ラン、功業不建タ。是以悲シム耳のミト。」

(2) 三顧の礼

瑯琊諸葛亮、寓居襄陽隆中。每自比管仲・樂毅、劉備訪士於司馬徽。徽曰、

「識時務者、在俊傑。此間自有伏龍・鳳雛。諸葛孔明・龐士元也。」

徐庶亦謂備曰、

「諸葛孔明臥龍也。」

備三往乃得見亮。問策。亮曰、

「曹操擁百萬之衆、挾天子、令諸侯。此誠不可與爭鋒。孫權

拋有江東國險而民附。可與為援、而不可與用。武之

國益州險塞沃野千里、天府之土。若跨有荆・益、保其巖阻、

天下有變、荆州之軍向宛・洛、益州之衆出秦・川、孰不三

壺漿こしやう以て迎へ將軍しやう乎や乎と」

備曰ハク、

「善シト」

与レ亮情好日ニ密ナリ曰ハク、

「孤之有ルハ孔明ニ猶ナホ魚之有ルガ水也ト」

(3) 赤壁の戦い

曹操撃つ劉表。表卒。子琮。荊州降操。劉備奔江陵。操追之。備走夏口。操進軍江陵。遂東下。

亮謂備曰、

「請求救於孫將軍。」

亮見權說之。權大悦。

操遺權書曰、

「今治水軍八十万衆、与將軍会獵於吳。」

權以示群下。莫不失色。

張昭請迎之。魯肅以爲不可。勸權召周瑜。瑜至。曰、

「請得数万精兵、進往夏口、保爲將軍破之。」

權拔刀斫前奏案曰、

「諸將吏、敢言迎操者、与此案同。」

遂_ニ以_レ瑜_ヲ督_ニ三万人_ヲ与_レ備并_レ力_ヲ逆_レ操_ヲ進_ニ遇_フ於_ニ赤壁_ニ。

瑜部将黄盖曰、

「操軍方連二船艦、首尾相接。可_ニ燒_イ而走_一也。」

乃取_ニ蒙衝・鬪艦十艘_ヲ載_ニ燥荻・枯柴_ヲ灌_ニ油_ヲ其中_ニ裹_ニ帷幔_ニ上_ニ建_ニ

旌旗_ヲ予_ニ備_ニ走_ニ舸_ヲ繫_ニ於_ニ其尾_ニ先_ニ以_レ書_ヲ遺_レ操_ニ詐_レ為_レ欲_レ降_ニ。

時東南風急。蓋以_ニ十艘_ヲ最_ニ著_レ前_ニ中江_ニ举_レ帆_ヲ余船以_レ次_ヲ俱_ニ

進。操軍皆指_ニ言_フ、

「蓋降_ニ。」

去_ニ二里余_ヲ同時_ニ発_レ火_ヲ。火烈_ニ風猛_ニ船往_ニ如_レ箭_ノ燒_ニ尽_ク北船_ヲ烟_ニ

焰漲_レ天_ニ。人馬溺_ニ燒_ニ死_ス者甚_ニ衆_ニ瑜等_ニ率_ニ輕銳_ヲ雷鼓_ヲ大_ニ進_ニ北軍

大_ニ壞_レ操走_ニ還_ニ。

後、屢_ニ加_ニ兵_ヲ於_ニ權_ニ不_レ得_レ志_ヲ。操歎_ニ息_{シテ}曰_{ハク}、

「生子_ヲ當_レ如_ニ孫仲謀_ノ向_ニ者_ヲ劉景昇_ノ兒子_ハ豚犬_{ナル}耳_ト。」

(4) 呉下の阿蒙

権将呂蒙初不学。権勸蒙読書。魯肃後与蒙論議。大驚

曰、
「卿非復呉下阿蒙。」

士別三日即当刮目相待。」

(5) 劉備の死

昭烈臨終謂亮曰、

「君才十倍曹丕、必能安国家、終定大事。嗣子可輔、輔之。如其不可、君可自取。」

亮涕泣曰、

「臣敢不竭股肱之力、効忠貞之節、繼之以死。」

(6) 出師の表

漢丞相諸葛亮、率諸軍北伐魏。臨發上疏曰、
「今天下三分、益州疲弊。此危急存亡之秋也。宜開張聖聽、
不宜塞忠諫之路。宮中、府中、俱為一體。陟罰臧否、不宜異
同。若有作姦犯科及忠善者、宜付有司論其刑賞、以昭平
明之治。親賢臣、遠小人、此先漢所以興隆也。親小人、遠賢
臣、此後漢所以傾頽也。」
臣本布衣、躬畊南陽、苟全性命於亂世、不求聞達於諸
侯。先帝不以臣卑鄙、猥自枉屈、三顧臣於草廬之中、諮臣
以當世之事。由是感激、許先帝以驅馳。先帝知臣謹慎、臨
崩、寄以大事。受命以來、夙夜憂懼、恐付託不効、以傷先帝
之明。故五月渡瀘、深入不毛。今南方已定、兵甲已足。當

遂^{つひニ}屯^ス漢^ニ中^ニ。而^ナ忠^{ナル}中^中陛^{下ニ}上^上之^ニ職^分也^ト。率^シ三^三軍^ヲ北^{シテ}定^ム中^中原^ヲ上^上興^ニ復^シ漢^漢室^ヲ還^ニ于^ハ旧^旧都^ニ。此^レ臣^臣所^下以^以報^ニ先^先帝^ニ。

(7) 死せる諸葛、生ける仲達を走らす

諸葛亮数挑司馬懿戰懿不出乃遺以巾幘婦人之服
亮使者至懿軍懿問其寢食及事煩簡而不及戎事使者
曰、

「諸葛公夙興夜寐、罰二十以上、皆親覽所噉食、不至数
升」

懿告人曰、

「食少事煩其能久乎」

亮病篤有大星赤而芒墜亮營中未幾亮卒長史楊儀整
軍還百姓奔告懿懿追之姜維令儀反旗鳴鼓若將向懿
懿不敢逼百姓為之諺曰、
「死諸葛走生仲達」

懿笑曰、

「吾能料生、不能料死。」

(8) 泣いて馬謖を斬る

魏主如長安遣張郃拒之亮使馬謖督諸軍戰于街亭

(省略)

亮為政無私馬謖素為亮所知及敗軍流涕斬之而卹

其後